



雪印メグミルクにて初のバーチャル PPA を導入
～太陽光発電を活用し、川越工場における CO₂ 排出量削減～

雪印メグミルク株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：佐藤 雅俊）は、東芝エネルギーシステムズ株式会社（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：島田 太郎）と再生可能エネルギーを活用したバーチャル PPA（Power Purchase Agreement：電力購入契約）を新たに締結しました。



バーチャル PPA は、電力需要家が敷地外の発電所で発電された再生可能エネルギーの環境価値（非化石証書）を調達する手段です。

当社グループでは、2030年度までに CO₂ 排出量を 2013年度比 50% 削減する目標を KPI（重要管理指標）として定め、グループ一体で脱炭素の取組みを推進しています。今回のバーチャル PPA 締結は、その一環となります。

契約期間	10 年間（2025 年度～2034 年度）
年間発電量	3,800MW h（予定）
CO ₂ 削減量	約 1,400 t -CO ₂ /年

今回調達する環境価値（非化石証書）は、当社の川越工場の CO₂ 排出量削減に使用します。これにより、埼玉県の「目標設定型排出量取引制度」における第 4 削減計画期間（2025年度から 2029 年度）の温室効果ガスの削減目標に対する取組みを推進します。

今後も当社グループは、社会的・経済的価値を同期化させた「サステナビリティ経営」において、脱炭素社会の実現に向けた取組みを進めてまいります。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

雪印メグミルク株式会社
広報 IR 部 広報グループ
TEL 03-3226-2124 FAX 03-3226-2150
E-mail msb-pr@meg-snow.com